



東京府豊島  
師範學校教諭

山本正夫著

音  
樂  
の  
學  
習

東京大明堂發行



曲想に關する發想記號

Agitato	Animato	感情を以て	せきこむ如く
Cantabile		諸ふが如くに	美麗に
Con gusto		趣味を以て	
Con moto		感情を以て	勢をつけて
Dolce		柔かに	
Fuoco		急速に	精神を以て(熱心に)
Furioso		急いで	甚だげしく
Maestoso		莊嚴威嚴を以て	
Passionato		感動して	性急熱心に
Sostenuto		長く伸して	勢を減せず
Tenut.		勢を増さず	音を其の價値だけ維持して
Tutta forza		最大の勢力を以て	
Vigoroso		勇壯に	元氣に 勢をつけて

此の外まだ曲想に關する發想記號が澤山あるが、今此處では主なるものを、大體記載したのである。

金波銀波

M.M. ♩ = 120  
 Leggiero 爽快に  
 mf

1. イ マシ-モ-ノ-ボル ア-サヒ-ニ  
 2. い まし-も-し-ぶむ ゆ-ふひ-に

ゴ コウ-ハ ヨ-モヲ ソ-メツ-ツ  
 ひ とす-が あ-かく そ-めつ-つ

*p dolce*

シロガネの ナ-ミハ タダ-ヨ-フ  
 こがねの な-みど よせ-く-る

ハチシ-モ ワ-カーヌ ウナバ  
 はてし-も し-ら-ぬ うなば

ソラニハカ-モ-メ イ-ツヨ  
 ちきにはし-ら-ほ みい-つよ

第一篇本論

金波銀波

犬童球溪作歌

- 一、今しも昇る旭に  
 後光は四方を染めつゝ  
 白銀の波は漂ふ  
 涯てしも分かぬ海原  
 空には鷗三つ四つ。
- 二、今しも沈む夕日に  
 一筋赤く染めつゝ  
 黄金の波ぞ寄せ来る  
 涯てしも知らぬ海原  
 沖には白帆三つ四つ。

である。況んや教育者たらんとする人に於てをやである。わけて検定試験規則の何條かに、「不正の方法によつて、試験を受けむとしたものは受験資格を喪失する。」との明文があるのを知らねばならぬ。

三、受験場にて 先づ規則に従へ。如何なる微細なことでも、「受験者心得」の示して居ることに違背しないやう注意を要する。期日がちがつたり、時間を誤つたり、順序や行動を誤つたりすると、折角學科や技術に於て立派に合格して居る人が、遂に九仞の功を一簣で水泡に委する場合が多い。洵に惜しむべく恨むべき事である。

次はよく落着いて何事にも萬全を期すべく、努力することが大切である。決して輕率であつたり、急速であつたりしてはならぬ。尤も悪いのは、自分で勝手に見きわめをつけて、棄權をしたり、自暴自棄になつたり、中絶中止、中弛みしたりする事である。一失あらば必ず一得を以て取戻せ、一敗あらば直ちに一勝を作れ。ねばり強く、寧ろ押し強く、謹嚴に、誠實に、一身を挺して、心一ぱい、力一ぱい、汝の爲し得る最善を盡し、必ず頑張り通すべきである。讀者諸君の大成功を希望して已まぬ。經に曰く

「最後まで忍ぶものは幸也。」

### 音樂の學習終

昭和五年七月十三日印刷  
昭和五年七月十六日發行

音樂の學習

定價金貳圓八拾錢

不許複製

著者 山本正夫  
發行者 東京市神田區小川町三十七番地 神戸文三郎  
印刷者 東京市牛込區榎町七番地 竹内喜太郎

發行所

東京市神田區小川町三十七番地  
電話 神田 二二三二九番  
振替東京 四七七八八番

大明堂書店

一行印社會式株刷印請日一